（別紙4-2）

目標達成計画

事業所名　グループホーム しらかば

作成日：　令和 元 年 8 月 7 日

【 目標達成計画 】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護施設では介護計画を基にして支援しているのだが、その介護計画は、日々の介護記録やサービス担当者会議･カンファレンスの情報などが的確に共有にされていなければ作成できない。これまでの記録を読み返してみると、プランに沿った記録がなされているとは言いにくい。利用者様本位の介護計画作成・個別ケアのためには、記録についてより一層学び、介護計画に生かせるような記録ができるようになることが必要である。	・介護記録が情報共有の基であるので、誰もが同じ様に感じ取れる・状況が目に浮かぶような記録を書けるようになる。 ・全職員が担当者の介護計画を、日々の介護記録を基にしながら立てられるようになる。	・ケアプランについて学ぶ・・・ケアマネが会議時に資料など配布・説明する(年に3～4回) ・ケース記録の仕方について学ぶ機会を多く持つ(年に3～4回)	1年間
2	35	火災・地震などの災害に向けての避難訓練は定期的に行なっている。しかし、非常備品・非常持ち出し品の用意はあるものの、管理･確認が定期的になされていない。いざという時に本当に役立つものを用意する必要がある。	定期的な非常備品の確認・点検・補充をする。	・非常備品について再度検討する(災害対応担当・管理者・ホーム長) ・非常備品の確認・消費・補充を行なう時期を決めておく。 ・日常で使い廻せる備品の工夫をして、効率のよい備品を備蓄する。	1年間
3					
4					
5					

注1）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2）項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。